

2019年3月29日

学会認定・臨床輸血看護師制度

協議会 会長 大戸 斉
審議会 会長 牧野 茂義
試験委員長 梶原 道子

(1) 筆記試験

1. 実施日、会場：平成30年11月4日（日）、TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
2. 時間、内容：2時間（10：00～12:00）
多肢選択式問題40題（80点）、記述式問題2題（20点）、計100点満点
3. 受験者数：254名
（受験申請者255名中、欠席者1名を除く）
4. 成績：平均点76.67点、最高点98点、最低点50点、標準偏差9.32点
5. 筆記試験合格者数、合格率：243名、95.7%（243/254）

(2) 病院研修

1. 期間、会場：平成31年1月～3月において、1日間
学会認定・臨床輸血看護師制度協議会の認定施設
2. 研修者数：243名
（筆記試験合格者243名中、2名がインフルエンザ感染のため研修できなかった。前年度筆記試験に合格したが、病院研修を受けなかった2名が研修を受けた）
3. 研修終了者数：243名
（施設研修を受けた243名において、不合格と判定された者はなかった。）

(3) 最終認定者数、認定率：243名、94.9%（243/257）

(4) 講評

TKP市ヶ谷カンファレンスセンターを会場として、平成30年11月3日（土）に講習会が、4日（日）に筆記試験が行われた。講習会は3日、13時よりスタートし、6名の講師により途中で約20分の休憩を挟み、19時まで行われた。テーマは総論の後、内科、外科・周術期、救命救急、産婦人科、小児科の各領域における輸血療法とした。筆記試験は4日に行われ、講習会参加者254名全員が受験した。結果は上記の如くで、61点以上の243名が合格となった。

病院研修は全国の指定施設で行われた。評価は、①輸血の意義と目的、②血液製剤の取り扱い、③輸血看護、④輸血副作用、⑤輸血検査、⑥血液製剤の準備・払い出し・管理、⑦症例検討の計7項目について、それぞれ（a）特に優れている、（b）優れている、（c）良い、（d）劣る、の4段階で行われた。各項目（b）との評価が最多であった。各項目で（d）判定となったものはいなかった。総合評価も（a）～（d）の4段階で行われ、病院研修者243名は、（a）104名（42.8%）、（b）124名（51.0%）、（c）15名（6.2%）と判定されたが、（d）は皆無であった。

以上より、病院研修を行った243名の修了が確認され、第9回 学会認定・臨床輸血看護師として認定された。

(5) 講習会、病院研修での問題点

前年と異なり、講習会は1会場で行えたため、トラブルはなかった。講習会の際、交通の乱れで遅刻した受講者があったが、会場到着後のプログラムを受講していただいた。試験については遅刻者はなかったが、今後は試験会場入室可能な最終時刻を決めておく必要がある。また、講習会の際に、写真や動画を撮影している受講者がいた。次年度からは撮影禁止とすることになった。